

村半利活用検討会（令和6年度第4回）結果報告

日時 令和7年3月13日（木） 16時～17時

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー 6名、事務局（総合政策部総合政策課） 3名

内容

1 協議事項

(1) 利用状況等について

- ・ 令和6年12月、令和7年1月～2月の利用状況や占用利用実績等について説明
- ・ 今後の占用受付について

2 報告事項

- (1) 旅立っていくみなさんへのメッセージ
- (2) 村半Instagramのデータ解析

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

(1) 利用者の若者との意見交換

会議開始前に、今年の3月に高校を卒業した3名にインタビューを行った。うち2名は村半をよく利用してくれた方で、もう1名は村半利用回数が3回の方。利用者の声を直接聞くため、3名にお願いしてインタビューの時間を設けた。

事:どのように利用をされていたか？

若:主に勉強で利用した。勉強は一人のときもあれば友達とすることもあった。他にも友達と集まって遊ぶことにも利用しており、自分のやりたいことを行うために利用することもあれば、人とのつながりを持つために利用することもあった。

若:勉強で利用し、テスト終わりにはみんなとボードゲームで遊ぶことにも利用していた。

事:今後村半に望むことは何か？

若:特に困ったことは無かった。いろんな人に見られるような環境でもなかったのでも落ち着いた利用できた。このままで良いと思う。

若:満足している。ボードゲームを希望したら置いてくれてうれしかった。

メ:最初に村半を知った時にどのような場所として知ったか？

若:友達が村半を利用して、放課後にどこかで集まりたいとなったときに友達が「村半がある」と教えてくれた。特にどういう場所といったイメージはなかった。

若:仲良くなった友達について行った。そこからほぼ毎日通い続けた。

メ:自宅はこの近くか？

若:自転車で10分くらいのところ。

メ:来やすい場所にあったということか？

若:はい。

メ:気に入らないところは本当に無いか？

若:図書館と大政の欠点を無くしたのが村半だと思っている。特に無し。

若:満足している。

メ:後輩たちにも「良いところ」だと伝えてくれているか?

事:後輩とのつながりはないのかもしれない。

若:特に積極的に話したことはない。

メ:高校卒業後は高山を出ていくと思うが、高山の文化などでここは誇りになると思うところはあるか?

若:安くておいしい飲食店が多い。

若:思い出がたくさんある。都会に行ったときに人がたくさんいて居づらく感じた。高山は良い場所だと最近思った。

メ:田舎に住むことがある意味かっこいいことだと思う何かがあると良いなと思う。

メ:今後は村半に仲間を連れてきてもらい村半を宣伝してほしいし、高山に来て交流をしてほしいと思う。今後はどう利用したいと思っているか?

若:大学生になってからのイメージが今はわからない。どれくらいの頻度で帰ることができるか見通しが立たない。高山に帰省したときに利用するかもしれないが、そもそも帰ってくるかどうかもわからない。

若:いい場所だったと話すことはあると思う。

メ:観光都市高山の町並みについてはどう思っているか?高山の良いところとは?

若:比較する対象が無くてわからない。もしかしたら大学に行つてわかるかもしれない。

メ:是非比較してほしい。村半で知らない人と話す機会はあったか?

若:遠方の大学生と話す機会や、大人とボードゲームを一緒にする機会もあった。

メ:どうだったか?

若:普段話すことのない方と話せて刺激になった。

若:大人の方が主催しているボードゲーム会に2回ほど参加した。普段経験できないことだし楽しかった。参加して良かったと思う。

メ:自分から参加希望したのか?

若:スタッフさんから入れるという話を聞いて参加した。

メ:村半で勉強する理由は何か?自宅との違いは何か?

若:自宅では勉強はしない。村半に来るとスタッフさんが見回りに来るなど多少人に見られていると感じるため、だらだらしているところを見られたくないという気持ちになる。家だとだらける。

若:自宅は休む場所。村半には勉強するんだという気持ちで来ていた。集中できた。

メ:村半には学校から家に帰る途中に立ち寄ったのか?

若:はい。通り道だった。

若:自宅の方向は違うけど、家は村半からそんなに遠くない。

メ:村半にはどうやって来ていたのか?

若:歩いて。

若:家から歩いて20分くらいだったので、歩いて村半に行くことが多かったが、たまに車で送迎してもらったこともあった。

メ:他校の生徒の利用は昨年と今年と比べてどうだったか?

若:以前よりも飛騨高山高校の学生の利用割合が増えた気がする。以前は斐太高校の生徒が多かった。

メ:中学校のときの同級生は来ていた?

若:来ていない。

メ:中学生が騒がしいので勉強しにくいということを聞いたが大丈夫だったか?

若:高校生でも騒がしい人はいる。

若:部屋を変えることもした。

事:村半を3回利用してみたの感想は？

若:この2人に誘われて村半を知った。使ってみて思ったのは、友達と交流しながら勉強ができるころというのは無いと思う。そういう場所がもっと増えてほしい。若者の憩いの場になっていると思う。こういう場所が市内にもっとあれば高山がもっと活性化していくのかもしれないと感じた。

(2) 協議事項、報告事項に対する意見等

メ:男女の利用について、文化会館でも同じような事例はある。手をにぎったまま動かなかったり、階段で抱き合っていた子もいた。文化会館では各フロアに勉強できるスペースを設けているので男女の学生も来ている。そういう年頃なのであまり無下にすることは無いと思うが、他から見ると困ってしまうこともあると思うので根気よく声かけをしてもらうのが良いと思う。

メ:学生の中には自分の高校に対して誇りや、生徒であることに自信を持っている子もいると思うが、中には誇りを持たない子もいると思う。迷惑行為を許してはいけないが、学生の困った言動に対して、気持ちに寄り添ったりわかってやらないことは寂しいと思う。若者対象の施設なので、そういうことが起きることは普通だと思った方が良い。

メ:男女のカップルはどれくらいの利用があるのか？

事:常にいる。1日1組～2組。冬はイベントが多くて、クリスマスやバレンタインのイベントで付き合うことになったカップルが卒業までに2人きりの時間を過ごしたいと思って村半を利用している傾向にある。過度な密着を見た中学生が心に傷を負わないか心配している。恋愛は推奨したいと思うが、学生に対しては自分たちの態度は他人から見るとどうなのか俯瞰して見てほしいと伝えたりもしている。問い詰めるようなことはしてなくて、深刻な感じではなく少し明るい感じで声掛けをしている。状況に合わせていろんな対応を試みていきたい。

メ:座布団を広げて利用していたカップルがいたとあるが、どのようなことか？

事:パートタイムスタッフからの報告によるもの。6枚の座布団を広げているところを目撃したもの。このようにおかしいと思う状況のときは学生本人に「何していたの？」と聞くこともある。

メ:騒音など利用者同士のトラブルのときは、直接利用者同士で言い合うようなことはあるのか？困ったときはスタッフに言うようにしているのか？

事:基本的にはスタッフに報告をもらっている。報告をもらったときは片方の言い分を鵜呑みにすることのないように双方の状況を見たり双方の言い分を聞くなど通訳のような対応をしている。利用者には「相手はこういう風に思っているみたいだよ」と伝えて行動を変えてもらうよう促している。以前、騒音には騒音で返すといったとげとげした雰囲気になってしまうことがあったが、そのときは利用者には「そんなやり方で良かったの？」と伝えた。未熟な部分があることもたちだとも思うので、見回りを強化しながら早めに状況をつかむようにしたい。

メ:学生の利用について、勉強以外の活動は増えているように感じるか？

事:勉強と遊びなどの交流が半々といったところ。1人の子が勉強と交流をしている。テスト期間は勉強して、それ以外の期間にはボードゲームなどで遊んだりお話ししたりする様子が見られる。勉強だけをしに村半に来る子はあまりいないように思う。勉強でもない交流でもない余白のような第3の時間もあるように思う。家や学校ではしない、できないことをする余白の利用があるように思う。

メ:友達の家に来られない時もあると思う。そういったときに集まることのできる場所があることは大事なことだとこの会議の冒頭の3人の学生の話聞いて改めて思った。

以上